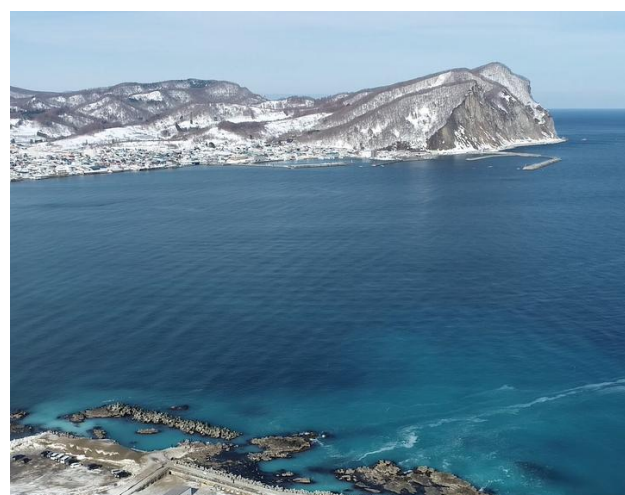


余市水産博物館

「海の歴史」学習プログラムにおけるトランクキットの開発と運営

実施期間：2024年7月1日（月）～2025年3月31日（月）



【事業の内容・目的】

- 余市町は、北前船の寄港地としてニシン粕を出荷し、瀬戸内における綿花栽培や藍栽培、煙草栽培等の日本列島の発展に寄与し、物流交易の拠点として機能した。
- 本事業では、このような町の歴史を現在の余市の漁業や環境問題と絡めて、小中学校で学習するための学習補助教材及び学習プログラムを小学校と連携・協働しながら作成し、「郷土の海の歴史に関するアウトリーチ教材」を整備することで、海洋教育事業の実践方法の構築を目的とする。
- これによりアウトリーチ教材を用いた学習プログラムを構築し、運営をすることにより質の高い海の学びの推進が期待される。
- なお、本事業には、令和5年度にプログラム3「海の学び調査・研究サポート」で実施した調査研究の成果を利用する。

活動の様子

1. 学習用動画の作成

【開催日時】2024年9月13日（金）～2025年2月28日（金）

【開催場所】余市郡漁業協同組合、中央水産試験場、余市水産博物館

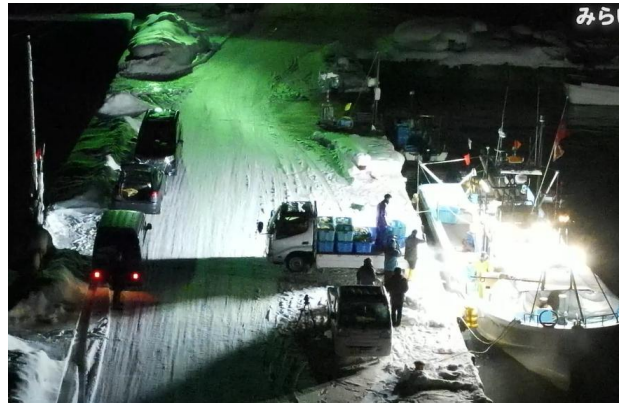
【参加者数】10人

【活動内容・目的】

- トランクキットに同梱する映像資料を作成した。
- 動画を作成には、地元漁師の協力を得て、インタビューや実際の漁の様子を撮影してもらい、より視覚的に面白く、郷土の海について学習できるものとした。



小学校中学年～中学生を対象とした動画5本（「プロローグ」、「江戸時代の余市の海」、「明治～昭和の余市の海」、「今の余市の海」、「未来の余市の海」）と小学校低学年向けのクイズ1本の計6本の動画を作成した。これらの作成にあたっては、教員からもアドバイスを頂き、より授業で使いやすいものとなるようにした。



学芸員や地元漁師等のインタビューや漁の様子の映像を動画に盛り込むことで、より分かりやすく効果的に「海の歴史」について学習できるようにした。



余市町教育委員会

海の学びミュージアムサポート

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

小学校低学年向けにクイズ形式の動画を作成した。クイズには、地元漁師の協力していただき、漁師の方が話してくださった浜ことばの内容を用いた。これにより、クイズだけではなく、地域の方言の記録を行うこともできた。

【参加者の声】

- 子供向けだけではなく、教員など大人が見ても勉強になる
- 自分の町だけど、知らないことばかりだった。勉強になった。
- わかりやすく、色々な場面で使用できる。

2. アウトリーチ教材の作成

【開催日時】2024年9月13日（金）～2025年2月28日（金）

【開催場所】町内小学校

【参加者数】20人

【活動内容・目的】※個別の実施活動の内容を「海の学び」の視点で簡潔に、箇条書きで。

- 北前船の航路を示した地図と、本州→北海道、北海道→本州への交易品が書かれたコマをセットにした学習補助教材を作成した。
- 動画資料とこれらアウトリーチ教材を合わせたトランクキットを作成し、運用することでアウトリーチ教材の利便性を高め、より効果的な海の学びを展開することを目的とする。



学習補助教材のプロトタイプを事前に作成して授業で用いることで、より授業で取り入れられやすい教材を作成することができた。

また、これらを使用することで、能動的な学習を促し、子供同士の会話の機会を増やすことで、主体的で深い学習の機会を提供することが可能となる。

教員用

【副教材】和人・アイヌの交換品をそれぞれ仕分けしよう!のやり方

用意するもの

■地図(A2)



北海道と本州の地図です。コマを置く際に使用してください。

■解答解説シート(A4)



コマの解答解説が記載されています。授業の最後に読み上げたり、出力して配布したり、ご活用ください。

■商品コマ:10コ



和人とアイヌが交換していた品をイラストで記載しています。

■ルールシート

このシートです。

この教材では、10コのコマと日本地図をつかって、和人とアイヌがどのような交易をしていたか学ぶための教材です。動画(江戸時代)を視聴してから学習するとより効果的です。

教育向けのマニュアルを作成することにより、学芸員だけではなく、教員の方がトランクキットを使用できるようにした。



教育副教材のプロトタイプを作成し、事前に授業で実施することにより、より使いやすい資料の作成が可能となった。

【参加者の声】

○はじめて知った。

○楽しかった。

3. 学習プログラムの作成

【開催日時】2024年11月6日（水）11:20～14:00

【開催場所】町内小学校

【参加者数】96人

【活動内容・目的】※個別の実施活動の内容を「海の学び」の視点で簡潔に、箇条書きで。

- ハンズオンを用いた学習プログラムを学校と協働で作成することによって、学校で利用しやすいトランクキットを活用した学習プログラムの作成を目的とした。
- 学習プログラム案を用いて出前授業を実施することで、学習プログラムの改善を行った。

郷土の海の歴史
余市の「海の歴史」学習動画 説明書

1. 余市の海「プロローグ」
内 容：余市町はどんなところ？（地図や景観、産業、特産物）
ねらい：自分たちが住んでいる余市町について高関心をもち、町や海への興味関心を促す。
対応する学習指導要領の一例
■第3学年及び第4学年 社会
■第1学年及び第2学年 生活

2. 余市の海「ヨイチ場所物語 江戸時代」
内 容：江戸時代の地図や絵図を見てみよう。ヨイチ場所とは？
ねらい：江戸時代の余市や絵図について学び、余市の海の歴史を学ぶ。
対応する学習指導要領の一例
■第3学年及び第4学年 社会
■第3学年及び第4学年 生活

3. 余市の海「近代の余市 明治・昭和」
内 容：昔の余市は？余市は？余市は？余市は？
ねらい：明治・昭和時代について、余市の海の歴史を学ぶ。
対応する学習指導要領の一例
■第3学年及び第4学年 社会

4. 余市の海「いまの余市の海」
内 容：今の余市の海は？余市の海で何が起こっている？
ねらい：余市の海の現状や課題について学び、余市の海の歴史を学ぶ。
対応する学習指導要領の一例
■第3学年及び第4学年 社会

5. 余市の海「みらいの余市」
内 容：海の未来は？余市の海で何が起こっている？
ねらい：海の未来について学び、余市の海の歴史を学ぶ。
対応する学習指導要領の一例
■第3学年及び第4学年 社会
■第1学年及び第2学年 生活・道徳

6. 余市の海「方言クイズ」
内 容：余市方言のクイズで余市方言を学ぶ。
ねらい：余市方言を学ぶことで、余市の歴史や文化について学ぶ。
対応する学習指導要領の一例
■第1学年及び第2学年 生活

トランクキット
郷土の海の歴史
が出来ました!!

余市水産博物館では、余市町の海の歴史を学習するための資料をパッケージした「郷土の海の歴史トランクキット」を作成しました!!
無料で貸し出ししますので、ぜひご利用ください。

トランクキット内容物

1. 余市の「海の歴史」学習動画
①プロローグ・・・余市の景観や産業について
②ヨイチ場所物語 江戸時代・・・江戸時代の余市の海の歴史について
③近代の余市 明治・昭和・・・明治・昭和時代の余市の海の歴史について
④いまの余市の海・・・現在の余市の海と人との関わりについて
⑤みらいの余市・・・これからの余市の海の未来について
⑥方言クイズ・・・余市の方言を学ぶ

2. 蝦夷地・本州交易学習キット
江戸時代から明治時代にかけて蝦夷地（北海道）と本州を行き来した交易品について、ゲーム感覚で学ぶことができます。1種X6セット1冊4～6人程度
まとめてこちらにパックングされています!!

3. アイヌ民族衣装はっぴ（レプリカ）
4. アイヌ民族学習図書 など

問合せ・貸出希望
余市町教育委員会（0135-22-6187）までご連絡ください。

トランクキットの作成と学習プログラムの作成にあわせて、学校向けの広報用資料を製作・配布することで、学校への周知を行った、また、学習動画の説明書には、対象となる単元を記載し、利用の促進に努めた。



学習プログラム案を作成し、江前授業で実施することにより、学習プログラムの改善を行った。

活動プログラム表

小学6年生 幕府の政治と人々の暮らし 鎖国のもとでの交流(発展的内容) ----- 教育出版「小学社会」	1.『わらい』 北海道の先住民族であるアイヌの人たちについてふるさと余市との関わりの中で正しく理解するとともに、その歴史と文化等についての関心を高める。 江戸時代の鎖国下でのアイヌの人たちとの交流について知り、人々の暮らしや社会の様子を関連付けて考える。また、アイヌの人たちの交易が和人の文化に与えた影響について理解する。
--	---

2.人数	3.活動月	4.活動時間
58	10月	1時間

7.学習内容		
事前の学習 社会科の授業で教科書146～147「鎖国のもとでの交流」を扱う。		
事後の学習		

時間	主な活動	備考
2時間目	※授業の準備	
9:25	○講師の紹介をする。 ▶パワーポイント「アイヌ文化」 →アイヌ語クイズ	○×クイズ・挙手で 班で考える
9:30	→ヨイチアイヌについて	
9:35	→交易について	
9:40	○トランクキット～動画江戸時代、交易品副教材	
9:45	・班で交易品を分類する	
9:50	・答え合わせ	
10:05	→カムイギリについて →ハンズオン	
10:10	振り返り(学習感想) ○最後のあいさつ	

8.使用する資料 タマサイ、サバウンベ	
------------------------	--

学習プログラムとトランクキットをむすびつけることにより、学校での使いやすさの向上を目指した。

【参加者の声】

- わかりやすかった。
- 群来（くき）を、初めて見た。

【事業全体のまとめ】 ※簡潔に記入。

- ・ 町内小中学校の教員のアドバイスを頂ながら協働で作成することにより、より実践的な教育補助教材の作成が行えた。
- ・ 動画の作成により、視覚的に漁の様子を知ることができた。尚且つ、地元漁師等のインタビューを動画に盛り込むことで、課外学習との連携も見込みやすくなった。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 余市郡漁業協同組合	動画の撮影協力、インタビューの協力
2. 余市町立東中学校	アドバイザー
3. 余市町立黒川小学校	アドバイザー
4. 余市町立沢町小学校	授業での実施
5.	

※主に教育機関や地域団体、他館などを中心に記載。表が不足する場合等は適宜増減すること

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 余市町教育委員会 X	
2. 余市町教育委員会 Facebook	
3. 広報チラシ	
4.	
5.	

※TV・新聞・雑誌等、主なものを中心に記載。表が不足する場合等は適宜増減すること

以上